

6 本時の展開

本時の目標	京都研修でグループごとに集めた情報を整理・分析し、情報共有することを通して、高知の観光の活性化について新たな視点で考える。		
観点別評価規準	グループで意見を出し合いながら、収集した情報を整理・分析している。(学②) 自分や仲間の集めた情報のつながりを考えながら、高知の観光の活性化に向けての考えを広げ、深めることができている。(自①)		
準備物	ホワイトボード		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 これまでの学習の流れを確認し、本時のめあてを知る。 ・これまでの活動を振り返る。 ・本時のめあてを知り、活動の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでどのような学習を行ってきたか簡単に振り返り、今後の見通しをもたせる。 ・本時の学習の流れを確認させる。 		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>〔学習課題〕 それぞれのグループが京都研修で調べてきた情報を整理・分析し、共有することを通して、高知の観光の活性化について発見したことを話し合おう。</p> </div>			
2 収集した情報を全体で交流できるようにまとめる。(グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの中でも、一人一人が理由や根拠を基にして自分の考えを述べるように助言する。 ・必要に応じて思考ツールを活用させる。 ・思考ツールは今までの学習で使用してきたものの中から自分たちで選択させる。 ・調査した内容をそのまままとめるのではなく、そこから考えたことも入れてまとめさせる。 	学②	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察(発言) ・制作物による評価(思考ツール)
3 まとめたことを全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる意見や他者の意見を受け入れ、お互いを尊重するような態度で交流させる。 ・高知の観光の新たな切り口について意識して交流させる。 ・話し合いを深めるきっかけとなるような資料を提示する。 	自①	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物による評価(ワークシート) ・行動観察(発言)
4 学習を振り返る。 ・振り返りをグループ内や学級で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな課題が出てきたら、次時につなぐようメモしておく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表